

<様式>

学 校 名	山形市立蔵王第三小・第二中学校 山形市蔵王温泉字丈二田727番地 TEL694-9042 FAX694-9373	校 長	高 橋 典 子
		研究主任	齋 藤 健 広
研 究 主 題	蔵王で学びを深め、未来を切り拓く子どもの育成 ～活動や関わりを通し、見方・考え方を働かせ、活用する力を育む工夫～ ＜4年次＞		
研 究 主 題 設 定 の 理 由	<p>本校では、学校教育目標「賢く 強く たくましい 児童生徒の育成」を掲げ、「確かな学力の育成」と「蔵王の未来を考える教育活動の充実」をめざし、感性を磨く体験・交流活動等を推進している。</p> <p>本校の子どもたちは、素直で何事にも一生懸命に取り組むことができ、極少数人数であるため教員の目が届き易く、個に応じた指導が可能である。しかしながら、解決策に困った際に自らの視点を広げきれず、思考を深める機会が少なかったり、耐性の弱さを見せたりすることがある。児童生徒の主体性を引き出し、自ら課題を見つけて粘り強く学ぶ姿、少数人数であっても、見方・考え方を働かせながら協働的に学ぶ姿を目指したい。</p> <p>そのためには、個々の児童生徒の強みと弱みを教員が丁寧に見取り、吟味することで、一人一人の興味・関心や理解の仕方に寄り添った指導を工夫することが大切である。また、児童生徒自身も自己を振り返り、自己理解を深めながら主体的に学ぶ力を付けていくことが重要であると考えます。</p> <p>本校は、蔵王温泉という世界屈指の観光地にあり、豊かな自然に恵まれ、地域の方々の協力体制にも恵まれている。また、他校では想定しにくいような、個がやりたい課題を追究したり教員がその思いに寄り添ったりすることが可能な学校である。ふるさと蔵王（もの、こと）の素晴らしさや地域（人）の願いを体感し、児童生徒の「見方・考え方」を働かせて、将来にわたって活用する力をつけていきたい。そして、蔵王ならではの学びを深め、主体的に学習する児童生徒を育成したいと考え、本主題を設定した。</p>		
研 究 の 目 標	<p>以下のような児童生徒の育成を目指す。</p> <p>(1) 身近なくらしの中から課題に気付き、主体的に学んでいく児童生徒</p> <p>(2) 課題の解決に向かって試行錯誤しながら、粘り強く挑戦する児童生徒</p> <p>(3) 見方・考え方を働かせながら、協働的に学ぶことができる児童生徒</p>		

研究の内容	<p>めざす児童生徒の姿に近づくために、以下の3点について重点的に取り組む。</p> <p>(1) 個の実態を見る力をつけ、授業展開に生かす。</p> <p>(2) 個の主体性を生かし、個別最適な学びになるように工夫する。</p> <p>(3) 生活科や総合的な学習の時間、各教科において、地域の素材を活かした学習材を発掘する。</p>
研究の方法	<p>(1) 小中の校種を交えた複数教員参観型の授業参観期間を実施する。</p> <p>①学校グランドデザインをもとにして、各授業者が「私の研究シート」を作成する。期日を5月末とし、研究主任が一覧にまとめ、6月第1週頃に紙上発表で全教員の共通理解を図る。(5月末まで提示するのは、研究テーマ、児童生徒の実態の2つ)</p> <p>②授業参観期間を6月～12月に設定する。</p> <p>③授業者は、年間最低1回の授業提供をする。(複数回も可)</p> <p>④参観者は、年間最低1回の参観をする。(複数回も可)</p> <p>⑤事後研は短時間(10～15分程度)を基本とし、児童生徒がもつ困り感やつまずき、教師ができる手立てや支援を付箋に書いたり、意見交流したりする。</p> <p>⑥(付箋の内容補足)事後研後、意見交流後の教員間の気づきやイメージを記入しても可。枠入りの大判用紙に貼り、分類・整理・掲示する。</p> <p>(2) 校内研修会を開き、児童生徒のよさや課題を焦点化する。外部講師を招いた研修を行う。</p> <p>(3) 蔵王に関して取り扱った学習材があれば、授業者が簡単な記録を残し、次年度につなげる。</p>
研究の計画	<p>4月 5日 第1回研究推進委員会(今年度の研究について)</p> <p>5月 1日 第1回校内研究会(今年度の研究について)</p> <p>6月～ 9月 第1回授業参観期間 *授業参観期間の他にも見てほしい授業があれば、授業参観の場としても可。</p> <p>7月 26日 第1回校内研修会(講義・演習)</p> <p>10月～12月 第2回授業参観期間</p> <p>11月 27日 第2回研究推進委員会(研究のまとめについて)</p> <p>12月 4日 第2回校内研究会(研究のまとめについて) *個人研究の成果等の交流・話し合いを兼ねる。</p> <p>1月 29日 第3回研究推進委員会(来年度の研究計画について)</p> <p>2月 19日 第3回校内研究会(来年度の研究計画について)</p>